

科目名	IT			担当講師	二瓶 佑太			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	月、火、水、金 曜	2～3 限	時間数	280	
実務教員 ○ 実務教員の紹介 フロントエンドエンジニアとして約7年間実務を行う。現在は、個人事業主として活動。									
講義概要と目的									
就職した際に必要なITリテラシーを習得し、職場でのWeb制作補助が行えるようレベルアップを図る									
到達目標									
PCの基本操作、リテラシー習得									
Webページ制作の基礎(HTML5、CSS3)の構築が自身で行える									
回	テーマ				内容				
1	自己紹介 Web知識				・名簿順に自己紹介 ・Webで使われている技術				
2	Web知識				・Webで使われている技術				
3	HTMLとは				・HTMLの基本的なしくみ				
4	CSSとは				・CSSの必要性				
5	バージョン管理について				・GitHubの考え方、解説				
6	JavaScriptとは				・JavaScriptでできること				
7	組織でのエンジニアポジション				・組織でのエンジニアの役割分担解説				
8	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
9	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
10	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
11	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
12	CSS学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
13	CSS学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
14	CSS学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
15	エディター設定				・Visual Studio Codeのインストール、設定				
16	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成				・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
17	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成				・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
18	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成				・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
19	発表				プロフィールページの発表				
20	発表				プロフィールページの発表				
21	レスポンスとは				・様々なデバイスで表示できるようレスポンスを学ぶ				
22	レスポンスとは				・様々なデバイスで表示できるようレスポンスを学ぶ				
23	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
24	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
25	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
26	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
テキスト									

科目名	IT			担当講師	二瓶 佑太		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	火、水、金 曜	1～3 限	時間数	280
実務教員 ○ 実務教員の紹介 フロントエンドエンジニアとして約7年間実務を行う。現在は、個人事業主として活動。								
講義概要と目的								
就職した際に必要なITリテラシーを習得し、職場でのWeb制作補助が行えるようレベルアップを図る								
到達目標								
PCの基本操作、リテラシー習得								
Webページ制作の基礎(HTML5、CSS3)の構築が自身で行える								
回	テーマ			内容				
1	自己紹介 Web知識			・名簿順に自己紹介 ・Webで使われている技術				
2	Web知識			・Webで使われている技術				
3	HTMLとは			・HTMLの基本的なしくみ				
4	CSSとは			・CSSの必要性				
5	バージョン管理について			・GitHubの考え方、解説				
6	JavaScriptとは			・JavaScriptでできること				
7	組織でのエンジニアポジション			・組織でのエンジニアの役割分担解説				
8	HTML学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
9	HTML学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
10	HTML学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
11	HTML学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
12	CSS学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
13	CSS学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
14	CSS学習			・オンライン学習CodePrepで学習				
15	エディター設定			・Visual Studio Codeのインストール、設定				
16	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成			・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
17	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成			・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
18	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成			・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
19	発表			プロフィールページの発表				
20	発表			プロフィールページの発表				
21	レスポンスとは			・様々なデバイスで表示できるようレスポンスを学ぶ				
22	レスポンスとは			・様々なデバイスで表示できるようレスポンスを学ぶ				
23	プロフィールページをアップグレード			・プロフィールページをレスポンス対応にする				
24	プロフィールページをアップグレード			・プロフィールページをレスポンス対応にする				
25	プロフィールページをアップグレード			・プロフィールページをレスポンス対応にする				
26	プロフィールページをアップグレード			・プロフィールページをレスポンス対応にする				
テキスト								

科目名	IT			担当講師	二瓶 佑太			SPuLA ITコース	
実施期間	前期	学年	R6	開講時間	月、火、木 曜	1～3 限	時間数	280	
実務教員 ○ 実務教員の紹介 フロントエンドエンジニアとして約7年間実務を行う。現在は、個人事業主として活動。									
講義概要と目的									
就職した際に必要なITリテラシーを習得し、職場でのWeb制作補助が行えるようレベルアップを図る									
到達目標									
PCの基本操作、リテラシー習得									
Webページ制作の基礎(HTML5、CSS3)の構築が自身で行える									
回	テーマ				内容				
1	自己紹介 Web知識				・名簿順に自己紹介 ・Webで使われている技術				
2	Web知識				・Webで使われている技術				
3	HTMLとは				・HTMLの基本的なしくみ				
4	CSSとは				・CSSの必要性				
5	バージョン管理について				・GitHubの考え方、解説				
6	JavaScriptとは				・JavaScriptでできること				
7	組織でのエンジニアポジション				・組織でのエンジニアの役割分担解説				
8	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
9	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
10	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
11	HTML学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
12	CSS学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
13	CSS学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
14	CSS学習				・オンライン学習CodePrepで学習				
15	エディター設定				・Visual Studio Codeのインストール、設定				
16	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成				・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
17	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成				・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
18	HTMLとCSSで簡単なプロフィールページ作成				・学んだコードを活かし、プロフィールを作成				
19	発表				プロフィールページの発表				
20	発表				プロフィールページの発表				
21	レスポンスとは				・様々なデバイスで表示できるようレスポンスを学ぶ				
22	レスポンスとは				・様々なデバイスで表示できるようレスポンスを学ぶ				
23	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
24	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
25	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
26	プロフィールページをアップグレード				・プロフィールページをレスポンス対応にする				
テキスト									

科目名	IT（2年）			担当講師	二瓶 佑太			国際教養本科		
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	月、火、水、金	曜	4～5	限	時間数	280
実務教員	○ 実務教員の紹介 フロントエンドエンジニアとして約10年間実務を行う。現在は、個人事業主として活動。									
講義概要と目的										
実務に必要なITスキル、AIを用いて効率よくプログラミングを行う。										
到達目標										
PCを活用し業務に必要なスキルを身につける。										
AI（人工知能）を用いて、プログラミング作業の効率化を目指す。										
回	テーマ				内容					
1	Excelを用いた履歴書作成				・履歴書作成					
2	Excelを用いた履歴書作成				・履歴書作成					
3	Excelを用いた履歴書作成				・履歴書作成					
4	メール送信・受信				・メールの送受信方法					
5	WordPressでオリジナルテーマ作成				・PHP、HTML5、CSS3、JavaScriptを使いオリジナルテーマを作成					
6	WordPressでオリジナルテーマ作成				・PHP、HTML5、CSS3、JavaScriptを使いオリジナルテーマを作成					
7	WordPressでオリジナルテーマ作成				・PHP、HTML5、CSS3、JavaScriptを使いオリジナルテーマを作成					
8	WordPressでオリジナルテーマ作成				・PHP、HTML5、CSS3、JavaScriptを使いオリジナルテーマを作成					
9	WordPressでオリジナルテーマ作成				・PHP、HTML5、CSS3、JavaScriptを使いオリジナルテーマを作成					
10	WordPressでオリジナルテーマ作成				・PHP、HTML5、CSS3、JavaScriptを使いオリジナルテーマを作成					
11	AIエディターを使いコーディング				・開発したいサービス案を考え、AIエディターを使いオリジナルサービスを作成					
12	AIエディターを使いコーディング				・開発したいサービス案を考え、AIエディターを使いオリジナルサービスを作成					
13	AIエディターを使いコーディング				・開発したいサービス案を考え、AIエディターを使いオリジナルサービスを作成					
14	AIエディターを使いコーディング				・開発したいサービス案を考え、AIエディターを使いオリジナルサービスを作成					
15	AIエディターを使いコーディング				・開発したいサービス案を考え、AIエディターを使いオリジナルサービスを作成					
16	プレゼンテーション				・作成したアプリケーションのプレゼンテーション					
17										
18										
19										
20										
テキスト										

科目名	ホテル実務Ⅰ			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	木 曜	4 限	時間数	32
実務教員	○ 実務教員の紹介 沖縄県内の大型ホテルで25年間勤務。総支配人を経験して管理・営業分野で部下の指導を行う。							
講義概要と目的								
日本の観光ビジネスの基本と実態の説明。世界での観光ビジネスの役割とその必要性について理解を深める。								
到達目標								
日本の観光ビジネスの業務内容を把握、理解した上で観光ビジネスに関わる企業への就職を繋げる。								
回	テーマ				内容			
1	オリエンテーション				授業内容の説明、使用テキストの配布、この授業の意義と必要性について伝える。			
2	宿泊業の基礎知識①ホテル、旅館の意義#1				A.お客様の生命と財産を守るB.お客様に快適な空間を提供する。			
3	宿泊業の基礎知識①ホテル旅館の意義 #2				A.多くのスタッフが連動して対応する。B.地域の観光に関与する産業である。			
4	宿泊業の基礎知識①おもてなしの意義				A.お客様の立場で考えた行動B.一人ひとりのお客様への異なる対応。			
5	ホテル用語①				ホテルで使用する専門用語			
6	ホテル用語②				ホテルで使用する専門用語			
7	ホテル用語③				ホテルで使用する専門用語			
8	ホテル用語④				ホテルで使用する専門用語			
9	ホテル用語⑤				ホテルで使用する専門用語			
10	ホテル用語⑥				ホテルで使用する専門用語			
11	チェックイン①				A.利用客の確認 B.レジストレーション カードU宿帳・宿泊者カード)の記入C.予約確認 D.清算方法確認			
12	チェックイン②				A.ルームキーの手渡し B.客室変更の対応 C.ウォークイン)の対応(飛び込み客)			
13	客室への案内①				A.誘導 B.エレベーターの乗り降り C.館内・避難経路、周辺施設案内			
14	チェックアウト				A.清算 B.荷物のお預かりC.鍵の引渡しD.お見送り			
15	電話の取次ぎ				A.在室中のお客様への電話 B.チェックインしていないお客様への電話			
16	タクシー、バス、観光地の案内				A.タクシーの手配 B.ツアーのご案内			
17	ルームサービス				A.オーダーテーキング B.デリバリー C.苦情			
18	ハウスキーピング				A.客室清掃 B.アメニティの補充 C.備品の故障			
19	ランドリーサービス				A.洗濯物のお預かり B.配達間違え			
20	レストラン(朝食サービス)				A.朝食サービス B卵の調理方法			
21								
テキスト	『ホテル・旅館学習テキスト』海外人材開発推進機構 『ホスピタリティの教科書』 PHIP研究所							

科目名	国際流通論Ⅰ			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	月 曜	4 限	時間数	32	
実務教員	○	実務教員の紹介	長い期間、商社勤務を努め、輸入・輸出をはじめ、世界経済にも精通している。						
講義概要と目的									
貿易は国と国との商取引で、なぜ貿易は行われるのか？目標は国際分業で生産性を高めるものであることの認識を高める。									
到達目標									
貿易実務がある人材を養い、貿易業界の様々な場所で活躍できる人材となるよう又日本と母国の架け橋となるようにしたい。									
回	テーマ			内容					
1	オリエンテーション			授業内容の説明テキストの説明、この授業の必要性の説明。					
2	「貿易」とは何か？			国と国の商取引。貿易はなぜ行われるのか。目的は国際分業で生産性を高めること。					
3	貿易取引の種類			我々が関わっている貿易の種類。					
4	貿易の世界で働いている人々			輸出者・輸入車以外の関係者。貿易実務に必要な能力。					
5	貿易にある規制について			輸出入にある規制について。					
6	コンテナ輸送の仕組み			在来船とコンテナ船の違いとコンテナ船の種類					
7	外国為替の仕組み			外国為替の二つの意味と円高・円安と為替リスク。					
8	決済方法			海外取引でのリスクと三つの決済方法。現在の主流送金。					
9	貿易取引の全体像。			おおまかな流れ。					
10	輸入取引の流れ			取引先の信用調査。					
11	輸出取引の流れ			輸出取引の三つのポイント。					
12	「輸出」①			市場調査。					
13	「輸出」②			輸出に関する法律					
14	「輸出」③			輸出先の発掘。					
15	クレーム処理①			クレームの意味					
16	クレーム処理②			クレームの実例					
17	クレーム処理③			クレームの解決法					
18	契約書			英文契約書					
19	復習①			市場調査から契約成立まで					
20	復習②			日本の貿易の現状					
21									
22									
23									
テキスト	「これ一冊でわかる貿易実務」あさ出版 「これだけ要点整理 貿易実務」日本能率協会マネジメント協会								

科目名	国際流通論Ⅰ			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	月 曜	5 限	時間数	32	
実務教員	○	実務教員の紹介 長い期間、商社勤務を努め、輸入・輸出をはじめ、世界経済にも精通している。							
講義概要と目的									
貿易は国と国との商取引で、なぜ貿易は行われるのか？目標は国際分業で生産性を高めるものであることの認識を高める。									
到達目標									
貿易実務がある人材を養い、貿易業界の様々な場所で活躍できる人材となるよう又日本と母国の架け橋となるようにしたい。									
回	テーマ				内容				
1	オリエンテーション				授業内容の説明テキストの説明、この授業の必要性の説明。				
2	「貿易」とは何か？				国と国の商取引。貿易はなぜ行われるのか。目的は国際分業で生産性を高めること。サービスの輸入など				
3	貿易取引の種類				我々が関わっている貿易の種類。				
4	貿易の世界で働いている人々				輸出者・輸入車以外の関係者。貿易実務に必要な能力。				
5	貿易にある規制について				輸出入にある規制について。				
6	コンテナ輸送の仕組み				在来船とコンテナ船の違いとコンテナ船の種類				
7	外国為替の仕組み				外国為替の二つの意味と円高・円安と為替リスク。				
8	決済方法				海外取引でのリスクと三つの決済方法。現在の主流送金。				
9	貿易取引の全体像。				おおまかな流れ。				
10	輸入取引の流れ				取引先の信用調査。				
11	輸出取引の流れ				輸出取引の三つのポイント。				
12	「輸出」①				市場調査。				
13	「輸出」②				輸出に関する法律				
14	「輸出」③				輸出先の発掘。				
15	クレーム処理①				クレームの意味				
16	クレーム処理②				クレームの実例				
17	クレーム処理③				クレームの解決法				
18	契約書				英文契約書				
19	復習①				市場調査から契約成立まで				
20	復習②				日本の貿易の現状				
21									
22									
23									
24									
25									
26									
テキスト	「これ一冊でわかる貿易実務」あさ出版 「これだけ要点整理 貿易実務」日本能率協会マネジメント協会								

科目名	国際流通論Ⅲ			担当講師	初鹿野修			ITコース		
実施期間	前期	学年	R6	開講時間	火	曜	1	限	時間数	32
講義概要と目的										
国際流通としての「国際物流」「国際商流」「国際資金流」「国際情報流」について理解し、国際流通の理論と政策を学ぶ。										
到達目標										
①国際流通の4つの領域「物流」「商流」「資金流」「情報流」について理解する										
②流通管理、流通政策について理解する。（世界的な貿易体制・関税率についても理解する）										
回	テーマ			内容						
1	オリエンテーション			テキスト配布・授業の意義・授業内容の説明						
2	国際流通論Ⅰ・Ⅱの復讐「国際流通論とは」			流通とは何かを復讐する						
3	国際流通論体系化概念図の理解			国際流通の体系を理解する						
4	国際商流について			商流のいろいろや所有権・サービス貿易について						
5	国際物流について			物流のネットワークの概念の理解・輸送形態による分類						
6	国際物流について②			貿易の形態による分類・国際輸送の周期性による分類						
7	国際資金流について			外国送金依頼書・国際決済と代金支払い						
8	国際資金流について②			信用状の内容と種類について						
9	国際流通管理について			基本的な輸出手続きと国際流通管理						
10	国際流通管理について②			基本的な輸入手続きと国際流通管理						
11	国際流通政策について			国際流通政策の領域						
12	WTOとは。WTO管理下における国際ルール			世界的な貿易体制をつくる動き						
13	国際ルール			歴史を通しての流通の理解						
14	世界貿易の主要原則			主要原則の理解						
15	主要各国の関税率			アメリカの相互関税を含めて関税率について						
16	アンチ・ダンピングについて			アンチダンピング						
17	地域貿易協定について			世界の地域における貿易協定について						
18	まとめ									
テキスト	国際流通論 理論と政策：鷺尾紀吉 創成社 現代国際流通論 原理と仕組み 鷺尾紀吉 創成社 ガイドノート「国際流通論Ⅲ」（上記本・資料から作成したノート）									

科目名	日本文化論			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	木 曜	2	限	時間数	32
実務教員	○ 実務教員の紹介 本語教師の資格を有し、日本語だけでなく、各専門教科、特に日本の文化事情について講義を行う。								
講義概要と目的									
クイズ形式で日本の文化・伝統・歴史について学び、あらゆる分野での日本事情について講義を行う。									
到達目標									
将来、日本国内で働く時に、知っておかなければならない日本の常識、ルール、きまりを認識して理解できるようにする。									
回	テーマ			内容					
1	オリエンテーション			テキストの配布・説明。授業の形式と参加方法の説明。					
2	日本人の暮らし①			1.家族 2.住居 3.教育 4.食 5.家計					
3	日本人の暮らし②			6. 社会保障 7. 仕事 8. 結婚 9.葬式 10.宗教					
4	日本人の暮らし③			11.女性 12.健康					
5	日本の文化①			1.日本語 2. 芸能・芸術 3. 娯楽4.スポーツ					
6	日本の文化②			4.祭り 5. 年中行事 6. 風物					
7	日本の文化③			7.i家・旅館 8精神					
8	日本の国土と国家①			1.日本の地形 2.日本の人口					
9	日本の国土と国家②			3.日本の気候と天災 4.政府					
10	日本の国土と国家③			5.日本のシンボル6. 日本の歴史7.日本の天皇					
11	日本の国土と国家④			8. 日本の産業と経済					
12	日本の国土と国家⑤			9.日本の交通 10.環境問題1.社会問題					
13	日本の歴史①			1. 奈良・平安時代 2.鎌倉・安土・桃山時代					
14	日本の歴史②			3.江戸・明治時代4.大正時代					
15	日本の歴史③			5.昭和時代・平成時代					
16	現代文化とポップカルチャー			1スマートフォン の普及 2.日本アニメの評価3. ポップミュージック					
17	前進を続ける化学技術			1.日本の科学技術対策 2.科学技術が生み出すイノベーション					
18	地球のためにできる事			1.地球温暖化防止に向けて 2. 温室効果ガス削減への取組					
19	教育と子供たち			I. 減り続ける子供の数2.学校制度と教育内容3. 教科学習以外の教育					
20	多文化共生社会を目指して			1日本に滞在する外国人たち 2.増加を続ける外国人観光客3.多文化共生社会のために					
21									
22									
テキスト	「クローズアップ 日本事情15」			the japan times					
	「英語で日本紹介ハンドブック」			アルク					
	「クイズ 日本事情」			大阪日本語センター					

科目名	日本文化論			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	月	曜	2	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介		日本語教師の資格を有し、日本語だけでなく、各専門教科、特に日本の文化事情について講義を行う。					
講義概要と目的									
クイズ形式で日本の文化・伝統・歴史について学び、あらゆる分野での日本事情について講義を行う。									
到達目標									
将来、日本国内で働く時に、知っておかなければならない日本の常識、ルール、きまりを認識して理解できるようにする。									
回	テーマ				内容				
1	オリエンテーション				テキストの配布・説明。授業の形式と参加方法の説明。				
2	日本人の暮らし①				1.家族 2.住居 3.教育 4.食 5.家計				
3	日本人の暮らし②				6. 社会保障 7. 仕事 8. 結婚 9.葬式 10.宗教				
4	日本人の暮らし③				11.女性 12.健康				
5	日本の文化①				1.日本語 2. 芸能・芸術 3. 娯楽4.スポーツ				
6	日本の文化②				4.祭り 5. 年中行事 6. 風物				
7	日本の文化③				7.i家・旅館 8精神				
8	日本の国土と国家①				1.日本の地形 2.日本の人口				
9	日本の国土と国家②				3.日本の気候と天災 4.政府				
10	日本の国土と国家③				5.日本のシンボル6. 日本の歴史7.日本の天皇				
11	日本の国土と国家④				8. 日本の産業と経済				
12	日本の国土と国家⑤				9.日本の交通 10.環境問題1.社会問題				
13	日本の歴史①				1. 奈良・平安時代 2.鎌倉・安土・桃山時代				
14	日本の歴史②				3.江戸・明治時代4.大正時代				
15	日本の歴史③				5.昭和時代・平成時代				
16	現代文化とポップカルチャー				1スマートフォン の普及 2.日本アニメの評価3. ポップミュージック				
17	前進を続ける化学技術				1.日本の科学技術対策 2.科学技術が生み出すイノベーション				
18	地球のためにできる事				1.地球温暖化防止に向けて 2. 温室効果ガス削減への取組				
19	教育と子供たち				I. 減り続ける子供の数2.学校制度と教育内容3. 教科学習以外の教育				
20	多文化共生社会を目指して				1日本に滞在する外国人たち 2.増加を続ける外国人観光客3.多文化共生社会のために				
21									
22									
テキスト	「クローズアップ 日本事情15」		the japan times						
	「英語で日本紹介ハンドブック」		アルク						
	「クイズ 日本事情」		大阪日本語センター						

科目名	日本文化論			担当講師	福里律子			SPuLA・IT	
実施期間	通年	学年	2	開講時間	木曜	3～4限	時間数	80	
講義概要と目的									
日本文化の特徴や歴史を知り、自国との違いや考え方を学び、日本社会の多様な環境に柔軟に対応できるような人材を育成する。									
到達目標									
授業計画と内容									
回									
1	日本語の日常表現								
2	生活事情								
3	交通事情								
4	留学生のための法律知識								
5	日本人の食生活								
6	日本の季節（春夏秋冬）								
7	日本の祭り・名所								
8	日本の芸能・芸道								
9	日本の教育								
10	世界とのかかわり								
11	日本の国土								
12	政治経済								
13	日本の歩み								
14	まとめ①								
15	まとめ②								
テキスト	・留学生のための日本事情入門								
	・日本という国								
	・その他資料								

授業シラバス

科目名	沖縄観光論			担当講師	福里律子			SPuLA・IT		
実施期間	通年	学年	2	開講時間	月	曜		限	時間数	40
実務教員	実務教員の紹介									
講義概要と目的										
沖縄の自然・文化をより深く学び、自然や文化の保護と地域振興に興味を持ってもらい、 今後の課題を解決する力を身につける。										
到達目標										
計画と内容										
1	沖縄観光の特性①									
2	沖縄観光の特性②									
3	地域の取り組み①									
4	地域の取り組み②									
5	観光資源（自然）									
6	観光資源（自然）									
7	観光資源（世界遺産）									
8	観光産業（クルージング・ダイビング）									
9	まとめ①									
10	まとめ②									
11	観光産業（テーマパーク）									
12	観光産業（エコツーリズム）									
13	観光産業（リゾートウエディング）									
14	今後の課題									
15	まとめ③									
テキスト	・沖縄県および一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー発行資料									
	・その他資料									

科目名	ホスピタリティ論 I			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	水曜	4限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介 沖縄県内の大型ホテルで総支配人を経験、ホテル業務を指導、教育してきた。						
講義概要と目的								
日本の「おもてなし」がどのようなものか、様々な文型や意味を機能面から理解できるようになることを目指す。								
到達目標								
日本のサービス業(ホテル等)で働く場合、お客様との接し方、受け答え方など「おもてなし」の心構えを伝える日本語の修築。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション							
2	おもてなしの心①			「いらっしゃいませ」「何名様ですか？ 相手の気持ちに寄り添い、誠実な心で接する。				
3	おもてなしの心②			基本練習。1. おもてなしのフレーズ。2.おもてなしとは？				
4	お辞儀①			おじぎの種類。1.会釈2.敬礼3.最敬礼。				
5	お辞儀②			基本練習。1. お嬢様の種類。2.分割礼、同時礼				
6	おもてなしの心③			まとめ問題				
7	名刺交換			1. 名刺交換の役割2.名刺交換の基本マナー、流れ				
8	人間関係構築①			第一印象「こんにちは」				
9	人間関係構築②			基本練習1.いい身だしなみ2.自己紹介				
10	表情①			「おはようございます。」と言う時の表情。鏡を見て笑顔の練習。				
11	表情②			挨拶のフレーズ。				
12	人間関係構築③			まとめ問題				
13	心配り①			ご案内;「あちらでございます。」距離の示し方。				
14	心配り②			基本練習:「ご案内」の具体例、方法				
15	誘導①			誘導の手順。会話。				
16	誘導②			1.エレベーターの乗り方。2. 部屋の案内。				
17	人間関係構築④			まとめ問題				
18	迅速な対応			1.要望に応える2.迅速に応える				
19	寄り添う心			1.傾聴「何かございましたか？」2. クレームを聞く				
20	柔軟な対応			1. 代案2. 提案				
21								
22								
23								
テキスト	「おもてなしの日本語 基本編」アスク出版							

科目名	ホスピタリティ論			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	水 曜	4 限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介 沖縄県内の大型ホテルで総支配人を経験、ホテル業務を指導、教育してきた。						
講義概要と目的								
日本の「おもてなし」がどのようなものか、様々な文型や意味を機能面から理解できるようになることを目指す。								
到達目標								
日本のサービス業(ホテル等)で働く場合、お客様との接し方、受け答え方など「おもてなし」の心構えを伝える日本語の修築。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション							
2	おもてなしの心①			相手の気持ちに寄り添い、誠実な心で接する。				
3	おもてなしの心②			基本練習。1. おもてなしのフレーズ。2.おもてなしとは？				
4	お辞儀①			おじぎの種類。1.会釈2.敬礼3.最敬礼。				
5	お辞儀②			基本練習。1. お嬢様の種類。2.分割礼、同時礼				
6	おもてなしの心③			まとめ問題				
7	名刺交換			1. 名刺交換の役割2.名刺交換の基本マナー、流れ				
8	人間関係構築①			第一印象「こんにちは」				
9	人間関係構築②			基本練習1.いい身だしなみ2.自己紹介				
10	表情①			「おはようございます。」と言う時の表情。鏡を見て笑顔の練習。				
11	表情②			挨拶のフレーズ。				
12	人間関係構築③			まとめ問題				
13	心配り①			ご案内;「あちらでございます。」距離の示し方。				
14	心配り②			基本練習;「ご案内」の具体例、方法				
15	誘導①			誘導の手順。会話。				
16	誘導②			1.エレベーターの乗り方。2. 部屋の案内。				
17	人間関係構築④			まとめ問題				
18	迅速な対応			1.要望に応える2.迅速に応える				
19	寄り添う心			1.傾聴「何かございましたか？」2. クレームを聞く				
20	柔軟な対応			1. 代案2. 提案				
テキスト	「おもてなしの日本語 基本編」アスク出版							

科目名	ホスピタリティ論Ⅱ			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース		
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	月	曜	3	限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介			沖縄県内の大型ホテルで総支配人を経験、ホテル業務を指導、教育してきた。					
講義概要と目的										
日本の「おもてなし」がどのようなものか、様々な文型や意味を機能面から理解できるようになることを目指す。										
到達目標										
日本のサービス業(ホテル等)で働く場合、お客様との接し方、受け答え方など「おもてなし」の心構えを伝える日本語の修築。										
回	テーマ				内容					
1	オリエンテーション									
2	おもてなしの心①				「いらっしゃいませ」「何名様ですか？」 相手の気持ちに寄り添い、誠実な心で接する。					
3	おもてなしの心②				基本練習。1. おもてなしのフレーズ。2.おもてなしとは？					
4	お辞儀①				おじぎの種類。1.会釈2.敬礼3.最敬礼。					
5	お辞儀②				基本練習。1. お嬢様の種類。2.分割礼、同時礼					
6	おもてなしの心③				まとめ問題					
7	名刺交換				1. 名刺交換の役割2.名刺交換の基本マナー、流れ					
8	人間関係構築①				第一印象「こんにちは」					
9	人間関係構築②				基本練習1.いい身だしなみ2.自己紹介					
10	表情①				「おはようございます。」と言う時の表情。鏡を見て笑顔の練習。					
11	表情②				挨拶のフレーズ。					
12	人間関係構築③				まとめ問題					
13	心配り①				ご案内;「あちらでございます。」距離の示し方。					
14	心配り②				基本練習:「ご案内」の具体例、方法					
15	誘導①				誘導の手順。会話。					
16	誘導②				1.エレベーターの乗り方。2. 部屋の案内。					
17	人間関係構築④				まとめ問題					
18	迅速な対応				1.要望に応える2.迅速に応える					
19	寄り添う心				1.傾聴「何かございましたか？」2. クレームを聞く					
20	柔軟な対応				1. 代案2. 提案					
21										
22										
23										
テキスト	「おもてなしの日本語 基本編」アスク出版									

科目名	ホテル実務 I			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	月 曜	3 限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介 縄県内の大型ホテルで25年間勤務。総支配人を経験して管理・営業分野で部下の指導を行う						
講義概要と目的								
日本の観光ビジネスの基本と実態の説明。世界での観光ビジネスの役割とその必要性について理解を深める。								
到達目標								
日本の観光ビジネスの業務内容を把握、理解した上で観光ビジネスに関わる企業への就職を繋げる。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			授業内容の説明、使用テキストの配布、この授業の意義と必要性について伝える。				
2	宿泊業の基礎知識①ホテル、旅館の意義#1			A.お客様の生命と財産を守るB.お客様に快適な空間を提供する。				
3	宿泊業の基礎知識①ホテル旅館の意義#2			A.多くのスタッフが連動して対応する。B.地域の観光に関与する産業である。				
4	宿泊業の基礎知識①おもてなしの意義			A.お客様の立場で考えた行動B.一人ひとりのお客様への異なる対応。				
5	ホテル用語①			ホテルで使用する専門用語				
6	ホテル用語②			ホテルで使用する専門用語				
7	ホテル用語③			ホテルで使用する専門用語				
8	ホテル用語④			ホテルで使用する専門用語				
9	ホテル用語⑤			ホテルで使用する専門用語				
10	ホテル用語⑥			ホテルで使用する専門用語				
11	チェックイン①			A.利用客の確認 B.レジストレーション カードU宿帳・宿泊者カード)の記入 C.予約確認 D.清算方法確認				
12	チェックイン②			A.ルームキーの手渡し B.客室変更の対応 C.ウォークイン)の対応(飛び込み客)				
13	客室への案内①			A.誘導 B.エレベーターの乗り降り C.館内・避難経路、周辺施設案内				
14	チェックアウト			A.清算 B.荷物のお預かりC.鍵の引渡しD.お見送り				
15	電話の取次ぎ			A.在室中のお客様への電話 B.チェックインしていないお客様への電話				
16	タクシー、バス、観光地の案内			A.タクシーの手配 B.ツアーのご案内				
17	ルームサービス			A.オーダーテーキング B.デリバリー C.苦情				
18	ハウスキーピング			A.客室清掃 B.アメニティの補充 C.備品の故障				
19	ランドリーサービス			A.洗濯物のお預かり B.配達間違え				
20	レストラン(朝食サービス)			A.朝食サービス B卵の調理方法				
21								
テキスト	『ホテル・旅館学習テキスト』海外人材開発推進機構 『ホスピタリティの教科書』 PHIP研究所							

科目名	ホテル実務Ⅱ			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	金 曜	1 限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介 兵庫県内の大型ホテルで25年間勤務。総支配人を経験して管理・営業分野で部下の指導を行う						
講義概要と目的								
日本の観光ビジネスの基本と実態の説明。世界での観光ビジネスの役割とその必要性について理解を深める。								
到達目標								
日本の観光ビジネスの業務内容を把握、理解した上で観光ビジネスに関わる企業への就職を繋げる。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			授業内容の説明、使用テキストの配布、この授業の意義と必要性について伝える。				
2	ホテル用語①			ホテルで使用する専門用語				
3	ホテル用語②			ホテルで使用する専門用語				
4	ホテル用語③			ホテルで使用する専門用語				
5	各セクションの特色①			営業部門：フロント課、予約課、客室課				
6	各セクションの特色②			料飲課：レストラン課、宴会課、洋食課、				
7	各セクションの特色③			料飲課：ベーカリー課、和食課				
8	各セクションの特色④			管理部：総務課、経理課、企画課				
9	各セクションの特色⑤			管理部：人事課、秘書課				
10	ホテル営業の収支			ホテルの収入・ホテルの支出				
11	チェックイン①			A.利用客の確認 B.レジストレーション カードU宿帳・宿泊者カード)の記入C.予約確認 D.清算方法確認				
12	チェックイン②			A.ルームキーの手渡し B.客室変更の対応 C.ウォークイン)の対応(飛び込み客)				
13	客室への案内①			A.誘導 B.エレベーターの乗り降り C.館内・避難経路、周辺施設案内				
14	チェックアウト			A.清算 B.荷物のお預かりC.鍵の引渡しD.お見送り				
15	ホテルの基本マナー①			身だしなみ、挨拶、言葉づかい				
16	ホテルの基本マナー②			ホテルの接客用語、ホテルマンの慣用句				
17	ホテルマンの基礎知識①			お客様について、いろいろなお客様				
18	ホテルマンの基礎知識②			団体客、外人客、新婚客				
19	就職のための知識①			大資本のホテルチェーンに入社すること、大型ホテルへ入社				
20	就職のための知識②			ビジネスホテルに入社すること、リゾートホテルに入社すること				
テキスト	『ホテル・旅館学習テキスト』海外人材開発推進機構 『ホテル実践シリーズ 基本編』専門教育出版							

科目名	観光サービス実務 II			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	金 曜	1 限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介	沖縄県内の大型ホテルで25年間勤務。総支配人を経験して管理・営業分野で部下の指導を行う。					
講義概要と目的								
日本の観光ビジネスの基本と実態の説明。世界での観光ビジネスの役割とその必要性について理解を深める。								
到達目標								
日本の観光ビジネスの業務内容を把握、理解した上で観光ビジネスに関わる企業への就職を繋げる。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			授業内容の説明、使用テキストの配布、この授業の意義と必要性について伝える。				
2	宿泊業の基礎知識①ホテル、旅館の意義#1			A.お客様の生命と財産を守るB.お客様に快適な空間を提供する。				
3	宿泊業の基礎知識①ホテル旅館の意義#2			A.多くのスタッフが連動して対応する。B.地域の観光に関与する産業である。				
4	宿泊業の基礎知識①おもてなしの意義			A.お客様の立場で考えた行動B.一人ひとりのお客様への異なる対応。				
5	所作、立ち振る舞い①			A.お辞儀B.笑顔C.立姿・待機姿勢D.歩き方E.方向の指し方				
6	所作、立ち振る舞い②			A.物の預かり方、渡し方B.声の出し方C.禁止事項・タブーD.クレーム対応 E.身だしなみ				
7	接客時の言葉づかい①			A.基本の接客8大用語 B.呼称 C.敬語				
8	接客時の言葉づかい②			A.好ましい言葉づかい B.クッション言葉				
9	接客の実習①出迎え時			A.待機時 B.安全確認 C.車対応				
10	接客の実習②出迎え時			A.荷物預かり B.玄関周りの保守・整理 C.手伝いを必要とする利用客への対応				
11	チェックイン①			A.利用客の確認 B.レジストレーション カードU宿帳・宿泊者カード)の記入C.予約確認 D.清算方法確認				
12	チェックイン②			A.ルームキーの手渡し B.客室変更の対応 C.ウォークイン)の対応(飛び込み客)				
13	客室への案内①			A.誘導 B.エレベーターの乗り降り C.館内・避難経路、周辺施設案内				
14	チェックアウト			A.清算 B.荷物のお預かりC.鍵の引渡しD.お見送り				
15	電話の取次ぎ			A.在室中のお客様への電話 B.チェックインしていないお客様への電話				
16	タクシー、バス、観光地の案内			A.タクシーの手配 B.ツアーのご案内				
17	ルームサービス			A.オーダーテーキング B.デリバリー C.苦情				
18	ハウスキーピング			A.客室清掃 B.アメニティの補充 C.備品の故障				
19	ランドリーサービス			A.洗濯物のお預かり B.配達間違え				
20	レストラン(朝食サービス)			A.朝食サービス B卵の調理方法				
21								
22								
テキスト	『ホテル・旅館学習テキスト』海外人材開発推進機構 『ホスピタリティの教科書』PIHP研究所							

科目名	ビジネスマナー			担当講師	福里律子		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	I (午前)	開講時間	金 曜	I 限	時間数	40
実務教員	実務教員の紹介							
講義概要と目的								
日本語を母語としない学生が、将来日本で就職することを考えており、必要なコミュニケーション力を身に付けられるようわかりやすくマンガを取り入れた。								
到達目標								
日本語の知識だけでなく、日本におけるビジネス習慣や文化に対して								
日本語運用能力やマナーを身につける。								
授業計画と内容								
1	Chapter1 日本の会社に就職する①～⑩							
2	//							
3	//							
4	//							
5	まとめ①							
6	Chapter2 奮闘記⑪～⑳							
7	//							
8	//							
9	//							
10	まとめ①							
11	Chapter3 仕事は七転び八起き㉑～㉓							
12	//							
13	//							
14	//							
15	まとめ③							
テキスト	・にっぽんのカイシャ～ビジネス日本語を实践する～ ・その他資料							

科目名	ビジネスマナー			担当講師	福里律子		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	I (午後)	開講時間	金 曜	4 限	時間数	40
実務教員		実務教員の紹介						
講義概要と目的								
日本語を母語としない学生が、将来日本で就職することを考えており、必要なコミュニケーション力を身に付けられるようわかりやすくマンガを取り入れた。								
到達目標								
日本語の知識だけでなく、日本におけるビジネス習慣や文化に対して日本語運用能力やマナーを身につける。								
授業計画と内容								
1	Chapter1 日本の会社に就職する①～⑩							
2	〃							
3	〃							
4	〃							
5	まとめ①							
6	Chapter2 奮闘記⑪～⑳							
7	〃							
8	〃							
9	〃							
10	まとめ②							
11	Chapter3 仕事は七転び八起き㉑～㉓							
12	〃							
13	〃							
14	〃							
15	まとめ③							
テキスト	・ にっぽんのカイシャ～ビジネス日本語を実践する～							
	・ その他資料							

授業シラバス

科目名	ビジネスマナー			担当講師	福里律子		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	2	開講時間	水 曜	1 限	時間数	40
実務教員		実務教員の紹介						
講義概要と目的								
日本語の知識だけでなく、日本におけるビジネス習慣や文化に対して日本語運用能力やマナーを身につける。								
到達目標								
ビジネス現場において実際に行われているさまざまなコミュニケーションを理解し、自らも適切に表現し、周りの人と十分に意思疎通することができる知識、ビジネスマナーを習得する。								
授業計画と内容								
1	挨拶のスキル							
2	聞き取りのスキル①							
3	聞き取りのスキル②							
4	やりとりのスキル①							
5	やりとりのスキル②							
6	やりとりのスキル③							
7	読み取りのスキル①							
8	読み取りのスキル②							
9	読み取りのスキル③							
10	書くスキル①							
11	書くスキル②							
12	交渉のスキル①							
13	交渉のスキル②							
14	交渉のスキル③							
15	まとめ							
テキスト	・それ知りたかったカイシャの日本語～マンガで学ぶビジネススキル&ボキャブラリー～							
	・仕事の日本語 ビジネスマナー編							
	・その他資料							

科目名	就職支援			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	金 曜	3 限	時間数	32	
講義概要と目的									
留学生が日本の就職活動を理解し、就職活動に必要な準備や対策を行うための講義とする。									
到達目標									
留学生が就職活動で成功するために①日本の就職活動を理解する②早くから準備する③諦めずに続ける									
回	テーマ			内容					
1	日本で就職すること①			1-1 日本の雇用環境 1-2 留学生の日本企業への就職事情 1-3 日本企業が求める留学生とは。1-4 留学生OB/OGから見た就職活動					
2	日本で就職すること②			1-5 日本の採用文化 1-6 就職活動のスケジュールと準備					
3	キャリアを考える			2-1 キャリアとは 2-2 内的キャリア 2-3 外的キャリア					
4	自分がどういう人かを考える①			3-1 自己分析とは 3-2 人生曲線 3-3 自分史					
5	自分がどういう人かを考える②			3-4 自分史の分析 3-5 ジョハリの窓 3-6 コンピテンシー					
6	自分がどうしたいかを考える①			4-1 死ぬまでにしたいこと 4-2 未来史					
7	自分がどうしたいかを考える②			4-3 日本の良いところ・悪いところ 4-4 日本との関係表 4-5 自己分析のまとめ					
8	業界を知る①			5-1 業界・企業研究とは 5-2 業界研究の視点 5-3 企業研究の視点					
9	業界を知る②			5-4 職種研究とは 5-5 日本企業の雇用形態 5-6 業界研究の方法					
10	業界を知る③			5-7 気になる業界を調べる 5-8 業界のつながり 5-9 周辺の業界を調べる					
11	企業と出会う①			6-1 企業研究の方法 6-2 インターンシップ 6-3 OB・OG訪問					
12	企業と出会う②			6-4 プレエントリー 6-5 会社説明会・セミナー					
13	企業を知る・選ぶ①			7-1 企業選ぶ6つの視点 7-2 6つの視点で調査する 7-3 9つの企業類型 7-4 企業類型による企業研究 7-5 3C分析					
14	企業を知る・選ぶ②			7-6 企業研究のまとめ 7-7 仕事選びの基準 7-8 志望業界とその理由 7-9 志望企業とその理由					
15	履歴書とエントリーシート			8-1 エントリーシートとは 8-2 履歴書 8-3 メールのマナー 8-4 手紙のマナー					
16	エントリーシート対策①			9-1 エントリーシートのポイント 9-2 学生時代に力を入れたこと 9-3 との作成の準備 9-4 学生時代に力を入れたことの作成					
17	エントリーシート対策②			9-5 自己PRとは 9-6 自己PR作成の準備 9-7 自己PRの作成 9-8 志望動機 9-9 志望動機作成の準備 9-10 志望動機作成					
18	筆記試験対策			10-1 筆記試験 10-2 SP13 10-3 棚手箱 10-4 CAB・GAB					
19	面接試験①			11-1 面接とは 11-2 面接の可否を分ける第一印象 11-3 服装のマナー 11-4 会話のマナー 11-5 電話のマナー					
20	面接試験②			11-6 面接の手順とマナー 11-7 面接で聞かれる質問 11-8 面接チェックシート 11-9 模擬面接					
21									
22									
テキスト	『留学生のための就職内定ワークブック』日本能率協会マネジメントセンター								

科目名	就職支援			担当講師	津覇実明			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	木 曜	5 限	時間数	20	
実務教員	実務教員の紹介								
講義概要と目的									
日本での就職活動の効果的な対応力の育成。									
到達目標									
志望業種・志望企業への就職。									
回	テーマ				内容				
1	自己紹介1				チャートを用いた自己分析				
2	自己紹介2				自己分析の文字化				
3	自己紹介3				口頭での発表				
4	日本語を学ぼうと思ったきっかけ				向学心のアピール方法				
5	日本で苦勞したこと				課題解決能力のアピール				
6	日本と自国の違い				異文化理解のアピール				
7	日本企業の特徴				「和」「チームワーク」「報告・連絡・相談」				
8	地元企業と本土企業				地方と都市の違いによる職業の多様性				
9	キャラクターとスキル				自己の資質能力を活かす方法				
10	業界・業種の選択				自分に合った仕事の探し方				
11	履歴書の書き方1				フォーマットの理解				
12	履歴書の書き方2				平仮名で書いてみる				
13	履歴書の書き方3				漢字を用いて書いてみる				
14	筆記試験対策1				知識問題				
15	筆記試験対策2				語句の活用問題				
16	筆記試験対策3				文章読解問題				
17	面接のマナー				入退室・姿勢・動作				
18	模擬面接1				自己紹介				
19	模擬面接2				志望動機				
20	模擬面接3				入社後に取り組んでみたいこと				
21									
22									
23									
24									
25									
26									
テキスト									

科目名	ホテルの日本語			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	木 曜	3 限	時間数	32
実務教員	○ 実務教員の紹介 沖縄県内の大型ホテルで25年勤務。最終は総支配人として部下の指導を行う。							
講義概要と目的								
お客様に対して、快適なサービスを提供し、円滑な業務が遂行できる日本語を身に着けることを目指している。								
到達目標								
将来、ホテルスタッフとして働く場合、ホスピタリティの気持ちを表し、お客様に満足して頂けるための日本語を身に								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			授業の内容の説明。テキストの内容と進め方、この授業の意義と将来、サービス関連業で働く場合の必要性について。				
2	おもてなしの心を表す表現			お客様の生命と財産を守るB.お客様に快適な空間を提供する。				
3	行き届いたサービスを伝える表現			使い方、発音練習				
4	よく使う言葉①			1.基本の言葉				
5	よく使う言葉②			2.カタカナ言葉				
6	よく使う言葉③			3.2つの言葉が1つになった言葉				
7	よく使う言葉④			4.日本人の名前				
8	よく使う言葉⑤			5.数字のついた言葉				
9	ホテルの業務①			1.チェックイン				
10	ホテルの業務②			2.部屋の案内				
11	ホテルの業務③3.			3.両替				
12	ホテルの業務④			4.チェックアウト				
13	ホテルの業務⑤			5.タクシー、バス、観光地の案内				
14	ホテルの業務⑥			6.電話の取次ぎ				
15	ホテルの業務⑦			7.ルームサービス				
16	ホテルの業務⑧			8.ハウスキーピング				
17	ホテルの業務⑨			9.ランドリーサービス				
18	ホテルの業務10			10.レストラン朝食サービス)				
19	ホテルの設備・備品			アメニティ、ベッド、TV他				
20	その他			おもてなしのフレーズ				
21								
テキスト	「ホテルの日本語」 (株)アスク 「サービス日本語」ホテルスタッフ編 (株)凡人社							

科目名	ホテルの日本語			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	木 曜	5 限	時間数	32
実務教員	○ 実務教員の紹介 沖縄県内の大型ホテルで25年勤務。最終は総支配人として部下の指導を行う。							
講義概要と目的								
お客様に対して、快適なサービスを提供し、円滑な業務が遂行できる日本語を身に着けることを目指している。								
到達目標								
将来、ホテルスタッフとして働く場合、ホスピタリティの気持ちを表し、お客様に満足して頂けるための日本語を身に								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			授業の内容の説明。テキストの内容と進め方、この授業の意義と将来、サービス関連業で働く場合の必要性について。				
2	おもてなしの心を表す表現			使い方、発音練習				
3	行き届いたサービスを伝える表現			使い方、発音練習				
4	よく使う言葉①			1.基本の言葉				
5	よく使う言葉②			2.カタカナ言葉				
6	よく使う言葉③			3.2つの言葉が1つになった言葉				
7	よく使う言葉④			4.日本人の名前				
8	よく使う言葉⑤			5.数字のついた言葉				
9	ホテルの業務①			1.チェックイン				
10	ホテルの業務②			2.部屋の案内				
11	ホテルの業務③3.			3.両替				
12	ホテルの業務④			4.チェックアウト				
13	ホテルの業務⑤			5.タクシー、バス、観光地の案内				
14	ホテルの業務⑥			6.電話の取次ぎ				
15	ホテルの業務⑦			7.ルームサービス				
16	ホテルの業務⑧			8.ハウスキーピング				
17	ホテルの業務⑨			9.ランドリーサービス				
18	ホテルの業務10			10.レストラン朝食サービス)				
19	ホテルの設備・備品			アメニティ、ベッド、TV他				
20	その他			おもてなしのフレーズ				
21								
テキスト	「ホテルの日本語」 (株)アスク 「サービス日本語」ホテルスタッフ編 (株)凡人社							

科目名	ホテルの日本語 II			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	金 曜	2 限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介 沖縄県内の大型ホテルで25年勤務。最終は総支配人として部下の指導を行う。						
講義概要と目的								
お客様に対して、快適なサービスを提供し、円滑な業務が遂行できる日本語を身に着けることを目指している。								
到達目標								
将来、ホテルスタッフとして働く場合、ホスピタリティの気持ちを表し、お客様に満足して頂けるための日本語を身に着ける。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			授業の内容の説明。テキストの内容と進め方、この授業の意義と将来、サービス関連業で働く場合の必要性について。				
2	おもてなしの心を表す表現			使い方、発音練習				
3	行き届いたサービスを伝える表現			使い方、発音練習				
4	よく使う言葉①			1.基本の言葉				
5	よく使う言葉②			2.カタカナ言葉				
6	よく使う言葉③			3.2つの言葉が1つになった言葉				
7	よく使う言葉④			4.日本人の名前				
8	よく使う言葉⑤			5.数字のついた言葉				
9	ホテルの業務①			1.チェックイン				
10	ホテルの業務②			2.部屋の案内				
11	ホテルの業務③3.			3.両替				
12	ホテルの業務④			4.チェックアウト				
13	ホテルの業務⑤			5.タクシー、バス、観光地の案内				
14	ホテルの業務⑥			6.電話の取次ぎ				
15	ホテルの業務⑦			7.ルームサービス				
16	ホテルの業務⑧			8.ハウスキーピング				
17	ホテルの業務⑨			9. ランドリーサービス				
18	ホテルの業務10			10.レストラン朝食サービス)				
19	ホテルの設備・備品			アメニティ、ベッド、TV他				
20	その他			おもてなしのフレーズ				
21								
テキスト	「ホテルの日本語」 (株)アスク 「サービス日本語」ホテルスタッフ編 (株)凡人社							

科目名	ホテル英語Ⅱ			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	木 曜	1 限	時間数	32
実務教員	○	実務教員の紹介 米国の大学で経営学を学び、日本国内のホテルで総支配人を務めた経験がある。						
講義概要と目的								
現行のホテル実務Ⅱの授業と並行して、ホテル業の基本を学びながら、外国人客へのホスピタリティを表す英会話を学ぶ。								
到達目標								
将来、外国人(インバウンド)が多く利用する有名ホテルで勤務しても、十分なサービスとホスピタリティで英語で対応できるようにする。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション							
2	フロント業務①			①チェックイン②部屋への案内、説明③館内施設の案内				
3	フロント業務②			④チェックアウト⑤見送り				
4	客室サービス			①ルームサービス②モーニングコール③ランドリーサービス				
5	フロント業務③			①問い合わせ②両替③宅配、郵便④案内				
6	電話対応			①宿泊予約②外線の取次ぎ③伝言④客室からの電話				
7	館内施設及びレストラン①			ギフトショップ・売店				
8	館内施設及びレストラン②			レストラン				
9	館内施設及びレストラン③			日本の料理				
10	館内施設及びレストラン④			バー				
11	館内施設及びレストラン⑤			カフェ				
12	館内施設及びレストラ⑥			エステ・マッサージ				
13	館内施設及びレストラ⑦			ジム・プール				
14	クレーム及びトラブル対応①			確認・謝罪				
15	クレーム及びトラブル対応②			宿泊予約				
16	クレーム及びトラブル対応③			設備・環境				
17	クレーム及びトラブル対応④			サービスの対応				
18	クレーム及びトラブル対応⑤			接客態度				
19	クレーム及びトラブル対応⑥			遺失物				
20	クレーム及びトラブル対応⑦			急病				
21								
22								
テキスト	適格に伝わる「ホテルの英会話」 「ホテルの接客英会話」 「とっさに使える接客英会話」			(株)ナツメ社 三修社 Jリサーチ				

科目名	ことわざ・格言 I			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R 7 AM	開講時間	水 曜	5 限	時間数	32	
実務教員	実務教員の紹介								
講義概要と目的									
日本で昔から言い伝えられる「ことわざ」と「格言」を通して、日本の歴史・文化・伝統を理解して、日本語の上達に繋げる。									
到達目標									
日本の「ことわざ」「格言」の意味を理解して、会話の中で使用できるぐらいの豊かな日本語力に繋げる。									
回	テーマ				内容				
1	オリエンテーション				テキスト配布、説明。授業の進め方。				
2	日本のことわざ				ア行のことわざ①				
3	日本のことわざ				ア行のことわざ②				
4	日本のことわざ				カ行のことわざ①				
5	日本のことわざ				カ行のことわざ②				
6	日本のことわざ				サ行のことわざ①				
7	日本のことわざ				サ行のことわざ②				
8	日本のことわざ				タ行のことわざ①				
9	日本のことわざ				タ行のことわざ②				
10	日本のことわざ				ナ行のことわざ①				
11	日本のことわざ				ナ行のことわざ②				
12	日本のことわざ				ハ行のことわざ①				
13	日本のことわざ				ハ行のことわざ②				
14	日本のことわざ				マ行のことわざ①				
15	日本のことわざ				マ行のことわざ②				
16	日本のことわざ				ヤ行のことわざ①				
17	日本のことわざ				ヤ行のことわざ②				
18	日本のことわざ				ラ行のことわざ①				
19	日本のことわざ				ラ行のことわざ②				
20	日本のことわざ				ワ行のことわざ				
21									
22									
23									
テキスト	「ことわざを覚える辞典」				旺文社				

科目名	ことわざ・格言 I			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース		
実施期間	通年	学年	R 7 PM	開講時間	水	曜	5	限	時間数	32
実務教員	実務教員の紹介									
講義概要と目的										
日本で昔から言い伝えられる「ことわざ」と「格言」を通して、日本の歴史・文化・伝統を理解して、日本語の上達に繋げる。										
到達目標										
日本の「ことわざ」「格言」の意味を理解して、会話の中で使用できるぐらいの豊かな日本語力に繋げる。										
回	テーマ				内容					
1	オリエンテーション				テキスト配布、説明。授業の進め方。					
2	日本のことわざ				ア行のことわざ①					
3	日本のことわざ				ア行のことわざ②					
4	日本のことわざ				カ行のことわざ①					
5	日本のことわざ				カ行のことわざ②					
6	日本のことわざ				サ行のことわざ①					
7	日本のことわざ				サ行のことわざ②					
8	日本のことわざ				タ行のことわざ①					
9	日本のことわざ				タ行のことわざ②					
10	日本のことわざ				ナ行のことわざ①					
11	日本のことわざ				ナ行のことわざ②					
12	日本のことわざ				ハ行のことわざ①					
13	日本のことわざ				ハ行のことわざ②					
14	日本のことわざ				マ行のことわざ①					
15	日本のことわざ				マ行のことわざ②					
16	日本のことわざ				ヤ行のことわざ①					
17	日本のことわざ				ヤ行のことわざ②					
18	日本のことわざ				ラ行のことわざ①					
19	日本のことわざ				ラ行のことわざ②					
20	日本のことわざ				ワ行のことわざ					
21										
22										
23										
テキスト	「ことわざを覚える辞典」 旺文社									

科目名	ことわざ・格言 II			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース		
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	水	曜	3	限	時間数	32
実務教員		実務教員の紹介								
講義概要と目的										
日本で昔から言い伝えられる「ことわざ」と「格言」を通して、日本の歴史・文化・伝統を理解して、日本語の上達に繋げる。										
到達目標										
日本の「ことわざ」「格言」の意味を理解して、会話の中で使用できるくらいの豊かな日本語力に繋げる。										
回	テーマ				内容					
1	オリエンテーション				テキスト配布、説明。授業の進め方。					
2	日本のことわざ				ア行のことわざ①					
3	日本のことわざ				ア行のことわざ②					
4	日本のことわざ				カ行のことわざ①					
5	日本のことわざ				カ行のことわざ②					
6	日本のことわざ				サ行のことわざ①					
7	日本のことわざ				サ行のことわざ②					
8	日本のことわざ				タ行のことわざ①					
9	日本のことわざ				タ行のことわざ②					
10	日本のことわざ				ナ行のことわざ①					
11	日本のことわざ				ナ行のことわざ②					
12	日本のことわざ				ハ行のことわざ①					
13	日本のことわざ				ハ行のことわざ②					
14	日本のことわざ				マ行のことわざ①					
15	日本のことわざ				マ行のことわざ②					
16	日本のことわざ				ヤ行のことわざ①					
17	日本のことわざ				ヤ行のことわざ②					
18	日本のことわざ				ラ行のことわざ①					
19	日本のことわざ				ラ行のことわざ②					
20	日本のことわざ				ワ行のことわざ					
21										
22										
23										
テキスト	「ことわざを覚える辞典」				旺文社					

科目名	漢字			担当講師	津覇実明			SPuLA ITコース	
実施期間	前期	学年	R6	開講時間	木 曜	5 限	時間数	20	
実務教員		実務教員の紹介							
講義概要と目的									
日常生活で困らない漢字力の育成									
到達目標									
漢字を読んで書ける力を身につける									
回	テーマ			内容					
1	病院			病院での受付、問診票、保険証等について					
2	病気・症状			体の部位、症状の伝え方					
3	薬局			おくすり手帳、薬の処方					
4	災害			緊急事態への備えと対応					
5	ゴミ			決まりを守ったゴミ出し					
6	役所			諸手続きの理解					
7	銀行			お金の管理					
8	電車・バス・モノレール			交通機関の利用方法					
9	郵便・宅配便			手紙、荷物の受け取り					
10	余暇			楽しみながら気分転換					
11	学校			日本の学校制度の理解					
12	家族			家族構成					
13	買い物			売り場、価格、商品の特徴の理解					
14	会社			受付、部署、仕事内容等の理解					
15	図書館			資料の活用					
16	お祭り・行事			地域・伝統					
17	旅行			見分を広げ深める					
18	テスト1			N3レベルの漢字演習					
19	テスト2			N2レベルの漢字演習					
20	テスト3			N1レベルの漢字演習					
テキスト									

科目名	日本語(読解) N2			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	火 曜	1 限	時間数	32	
実務教員		実務教員の紹介							
講義概要と目的									
日本語検定試験対策を中心に読解で高得点を取ることを目標に基礎力を高めるために短文・中文・長文に分けて指導。									
到達目標									
日本語学習によって、読解力がアップちて、日本語能力試験に合格するだけでなく、毎日の生活に役立つ授業としたい。									
回	テーマ			内容					
1	オリエンテーション			テキストの配布・説明。授業の流れとJLPT対策についての説明。					
2	基礎編 短文・中文①			指示語の内容					
3	短文・中文②			事実関係					
4	短文・中文③			言葉の意味					
5	短文・中文④			話の展開					
6	短文・中文⑤			人物の気持ち					
7	短文・中文⑥			理由や根拠					
8	短文・中文⑦			全体の内容					
9	短文・中文⑧			筆者が言いたいこと					
10	短文・中文⑨			連絡文					
11	短文・中文⑩			情報検索					
12	長文①			解説					
13	長文②			論説					
14	長文③			エッセイ					
15	長文④			小説					
16	長文⑤			紀行文					
17	対策編 対策準備①			問題文の基本的な読み方					
18	対策準備②			指示語の整理					
19	対策準備③			文末表現の整理					
20	対策準備④			接続詞の整理					
21									
22									
23									
24									
25									
26									
テキスト	日本語能力試験[N2][N2 読解]必修パターン				Jリサーチ出版				

科目名	日本語(文法) N2			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 AM	開講時間	水	曜	1	限	時間数
実務教員		実務教員の紹介							32
講義内容と目的									
「基礎編」「対策編」「模擬試験」に分けて授業を行い、N2文型の整理と共に、言葉や文をつなぐ練習をして繰り返しの練習をする。									
到達目標									
日本語能力試験(JLPT)のN2合格を目指し、問題分析をしながら、パターンに分類して試験に慣れる事を目指す。									
回	テーマ			内容					
1	オリエンテーション			テキストの配布・説明。授業の流れと受講の際のルールについての説明。					
2	基礎の復習①			助詞					
3	基礎の復習②			副詞					
4	基礎の復習③			接続詞					
5	基礎の復習④			敬語					
6	対策準備「N2文型の整理」①			時間・時期					
7	「N2N2文型の整理」②			立場・状況・場合					
8	「N2文型の整理」③			限定					
9	「N2N2文型の整理」④			例示・比喻					
10	「N2文型の整理」⑤			対比					
11	「N2文型の整理」⑥			同時・二つの自柄					
12	「N2文型の整理」⑦			強調・繰り返し					
13	「N2文型の整理」⑧			逆接・以外な気持ち					
14	「N2文型の整理」⑨			結果					
15	「N2文型の整理」⑩			条件・基準・方法					
16	「N2文型の整理」⑪			様子・傾向					
17	「N2文型の整理」⑫			可能・不可能					
18	「N2文型の整理」⑬			意志・意向					
19	「N2文型の整理」⑭			理由・根拠					
20	「N2文型の整理」⑮			NG/禁止					
21									
22									
23									
24									
25									
26									
テキスト	日本語能力試験「N2 文法」必修パターン			Jリサーチ出版					

科目名	日本語（文字・語彙）N2			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース		
実施期間	通年	学年	R7 AM N2	開講時間	月	曜	5	限	時間数	32
実務教員		実務教員の紹介								
講義概要と目的										
日本語検定試験（JLPT）の試験（年2回）のための試験対策として出題頻度の高いN2の文字・語彙の意味、使い方について										
到達目標										
日本語検定試験（JLPT）の試験N2の合格を目指す。										
回	テーマ			内容						
1	オリエンテーション			教科書の配布、説明。						
2	基本編①			伸ばす音、伸ばさない音						
3	基本編②			詰まる音、詰まらない音						
4	基本編③			「。」「‘」がつく音						
5	基本編④			「ん」が入る音						
6	基本編⑤			漢字の訓読みに注意したい言葉						
7	基本編⑥			色々な読み方をする初級漢字						
8	基本編⑦			読み方が同じ言葉						
9	対策編①			漢字の訓読みに注意したい言葉						
10	対策編②			色々な意味を持つ言葉。						
11	対策編③			形が似ている言葉						
12	対策編④			意味が似ている言葉						
13	対策編⑤			一字で言葉になるもの						
14	対策編⑥			前につく語、後ろにつく語						
15	対策編⑦			特別な読み方の言葉						
16	対策編⑧			「たとえ」の表現						
17	実戦練習①			問題①						
18	実戦練習②			問題②						
19	実戦問題③			問題③						
20	実戦問題④			問題④						
21										
22										
23										
テキスト	日本語能力試験「N2 語彙」必修パターン Jリサーチ出版									

科目名	日本語（文字・語彙）N2			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM N2	開講時間	火曜	5限	時間数	32	
実務教員		実務教員の紹介							
講義概要と目的									
日本語検定試験(JLPT)の試験(年2回)のための試験対策として出題頻度の高いN2の文字・語彙の意味、使い方について									
到達目標									
日本語検定試験(JLPT) の試験N2の合格を目指す。									
回	テーマ			内容					
1	オリエンテーション			教科書の配布、説明。					
2	基本編①			伸ばす音、伸ばさない音					
3	基本編②			詰まる音、詰まらない音					
4	基本編③			「。」「‘」がつく音					
5	基本編④			「ん」が入る音					
6	基本編⑤			漢字の訓読みに注意したい言葉					
7	基本編⑥			色々な読み方をする初級漢字					
8	基本編⑦			読み方が同じ言葉					
9	対策編①			漢字の訓読みに注意したい言葉					
10	対策編②			色々な意味を持つ言葉。					
11	対策編③			形が似ている言葉					
12	対策編④			意味が似ている言葉					
13	対策編⑤			一字で言葉になるもの					
14	対策編⑥			前につく語、後ろにつく語					
15	対策編⑦			特別な読み方の言葉					
16	対策編⑧			「たとえ」の表現					
17	実戦練習①			問題①					
18	実戦練習②			問題②					
19	実戦問題③			問題③					
20	実戦問題④			問題④					
21									
22									
23									
テキスト	日本語能力試験「N2 語彙」必修パターン Jリサーチ出版								

科目名	日本語（文字・語彙）N2			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース		
実施期間	通年	学年	R6 N2	開講時間	水	曜	2	限	時間数	32
実務教員		実務教員の紹介								
講義概要と目的										
日本語検定試験(JLPT)の試験(年2回)のための試験対策として出題頻度の高いN2の文字・語彙の意味、使い方について										
到達目標										
日本語検定試験(JLPT) の試験N2の合格を目指す。										
回	テーマ			内容						
1	オリエンテーション			教科書の配布、説明。						
2	基本編①			伸ばす音、伸ばさない音						
3	基本編②			詰まる音、詰まらない音						
4	基本編③			「。」「！」がつく音						
5	基本編④			「ん」が入る音						
6	基本編⑤			漢字の訓読みに注意したい言葉						
7	基本編⑥			色々な読み方をする初級漢字						
8	基本編⑦			読み方が同じ言葉						
9	対策編①			漢字の訓読みに注意したい言葉						
10	対策編②			色々な意味を持つ言葉。						
11	対策編③			形が似ている言葉						
12	対策編④			意味が似ている言葉						
13	対策編⑤			一字で言葉になるもの						
14	対策編⑥			前につく語、後ろにつく語						
15	対策編⑦			特別な読み方の言葉						
16	対策編⑧			「たとえ」の表現						
17	実戦練習①			問題①						
18	実戦練習②			問題②						
19	実戦問題③			問題③						
20	実戦問題④			問題④						
21										
22										
23										
テキスト	日本語能力試験「N2 語彙」必修パターン Jリサーチ出版									

科目名	日本語（語彙・文法・読解）			担当講師	福里律子		SPuLA・IT	
実施期間	通年	学年	2	開講時間	月・火・水 曜	2 限	時間数	120
実務教員		実務教員の紹介						
講義概要と目的								
幅広い場面で使われる日本語を理解し、適切に対応できるかどうかを評価し、日本語を母語としない方々へ日本語の文法、語彙、読解、聴解など、総合的な日本語能力向上を目的とする。								
到達目標								
日本語能力試験N1合格								
授業計画と内容								
1	（語彙・文法・読解）基礎編①							
2	〃 ②							
3	〃 ③							
4	〃 ④							
5	〃 ⑤							
6	（語彙・文法・読解）対策編①							
7	〃 ②							
8	〃 ③							
9	〃 ④							
10	〃 ⑤							
11	〃 ⑥							
12	〃 ⑦							
13	〃 ⑧							
14	〃 ⑨							
15	模擬試験							
テキスト	・日本語能力試験N1 語彙							
	・日本語能力試験N1 文法							
	・日本語能力試験N1 読解							
	・その他資料							

科目名	日本語N3（文字・語彙）			担当講師	二瓶裕之			SPuLA ITコース		
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	水	曜	2～3	限	時間数	64
講義概要と目的										
日本語能力試験検定試験(JLPT)N3の試験で出題される可能性が高い文字・語彙を学び、多種多様な形式な練習問題を解説する。										
日本語の語彙力を高め、日本語能力試験(JLPT)でN3に合格して、次のステップN2合格へつなげる。										
回	テーマ			①語彙リスト(モリタン#						
1	オリエンテーション			①教科書の説明。②授業の進め方。③評価基準④模擬試験について						
2	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#1)②練習問題(漢字表記#1)						
3	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#2)②練習問題(漢字表記#2)						
4	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#3)②練習問題(漢字表記#3)						
5	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#4)②練習問題(漢字表記#4)						
6	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#5)②練習問題(漢字表記#5)						
7	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#6)②練習問題(表記#1)						
8	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#7)②練習問題(表記#2)						
9	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#8)②練習問題(表記#3)						
10	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン#9)②練習問題(表記#4)						
11	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン10)②練習問題(文脈規定#1)						
12	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン11)②練習問題(文脈規定#2)						
13	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン12)②練習問題((文脈規定#3)						
14	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン13)②練習問題(言い替え類義#1)						
15	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン14)②練習問題(言い替え類義#2)						
16	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン15)②練習問題(言い替え類義#3)						
17	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン16)②練習問題(言い替え類義#4)						
18	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン17)②練習問題(用法#1)						
19	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン18)②練習問題(用法#2)						
20	文字・語彙			①語彙リスト(モリタン19)②練習問題(用法#3)						
21										
22										
23										
24										
25										
26										
テキスト	『日本語能力試験N3 これ1冊で合格する』日本語の森 株式会社 『新完全マスター 語彙N3』 株式会社スリーエーネットワーク									

科目名	日本語（文字・語彙）N3			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R6	開講時間	水曜	2限	時間数	32
実務教員	実務教員の紹介							
講義概要と目的								
テキストに沿って、日本語の基礎の語彙を紹介。日常生活で使用する文字を主に学習して実生活と結びつける。								
日本語検定試験(JLPT)N3合格を目指し、ここで習得した文字・語彙の知識が読解・文法・聴解につながるようにする。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			テキストの配布、説明。授業の流れと日本語検定試験対策についての説明。				
2	新しい言葉を覚える①			1.時間2.家族・友人3.食べる・飲む				
3	新しい言葉を覚える②			4.料理・味5.レストラン6.毎月の生活				
4	新しい言葉を覚える③			7.電車8.飛行機・バス・車9.家				
5	新しい言葉を覚える④			10.待ち11.お金・売る・買う12.服				
6	新しい言葉を覚える⑤			13.色・形14.数・量15.趣味・活動				
7	新しい言葉を覚える⑥			16.郵便・宅配17.人生18.国・社会				
8	新しい言葉を覚える⑦			19.産業・技術20.材料・道具21.自然				
9	新しい言葉を覚える⑧			22.自然②23.体・健康24.気持ち				
10	新しい言葉を覚える⑨			25.学校26.大学27.仕事・職業				
11	新しい言葉を覚える⑩			28.パソコン・ネット29.人と人・グループ30.どんな人				
12	第一回実践練習							
13	各語・動詞①			1.擬音語擬態語				
14	各語・動詞②			2.擬音語・擬態語				
15	各語・動詞③			複合動詞				
16	第二回実践練習							
17	各語・動詞④			複合動詞				
18	各語・動詞⑤			基本動詞				
19	各語・動詞⑥			慣用句				
20	第三回実践的練習							
21								
テキスト	「日本語能力試験問題集 N3 語彙 スピードマスター」 Jリサーチ出版							

科目名	日本語（文字・語彙）N3			担当講師	二瓶裕之		SPuLA ITコース	
実施期間	通年	学年	R7 PM	開講時間	月 曜	4 限	時間数	32
実務教員		実務教員の紹介						
講義概要と目的								
テキストに沿って、日本語の基礎の語彙を紹介。日常生活で使用する文字を主に学習して実生活と結びつける。								
日本語検定試験(JLPT)N3合格を目指し、ここで習得した文字・語彙の知識が読解・文法・聴解につながるようにする。								
回	テーマ			内容				
1	オリエンテーション			テキストの配布、説明。授業の流れと日本語検定試験対策についての説明。				
2	新しい言葉を覚える①			1.時間2.家族・友人3.食べる・飲む				
3	新しい言葉を覚える②			4.料理・味5.レストラン6.毎月の生活				
4	新しい言葉を覚える③			7.電車8.飛行機・バス・車9.家				
5	新しい言葉を覚える④			10.待ち11.お金・売る・買う12.服				
6	新しい言葉を覚える⑤			13.色・形14.数・量15.趣味・活動				
7	新しい言葉を覚える⑥			16.郵便・宅配17.人生18.国・社会				
8	新しい言葉を覚える⑦			19.産業・技術20.材料・道具21.自然				
9	新しい言葉を覚える⑧			22.自然②23.休・健康24.気持ち				
10	新しい言葉を覚える⑨			25.学校26.大学27.仕事・職業				
11	新しい言葉を覚える⑩			28.パソコン・ネット29.人と人・グループ30.どんな人				
12	第一回実践練習							
13	各語・動詞①			1.擬音語擬態語				
14	各語・動詞②			2.擬音語・擬態語				
15	各語・動詞③			複合動詞				
16	第二回実践練習							
17	各語・動詞④			複合動詞				
18	各語・動詞⑤			基本動詞				
19	各語・動詞⑥			慣用句				
20	第三回実践的練習							
21								
22								
23								
テキスト	「日本語能力試験問題集 N3 語彙 スピードマスター」				Jリサーチ出版			